

# 地域包括支援センター事業評価ヒアリングについて

## ヒアリング日程・評価委員について

2月13日(火)

久松 信夫 様(桜美林大学)  
井上 修一 様(大妻女子大学)  
草道 倫武 様(第一東京弁護士会)  
大倉 博志 様(町田市市民代表)  
梅田 あき子 様(町田市市民代表)  
早出 満明(町田市いきいき生活部高齢者支援課)  
青木 範和(町田市いきいき生活部高齢者支援課)

2月14日(水)

大島 泰嗣 様(町田市ケアマネジャー連絡会)  
井上 修一 様(大妻女子大学)  
矢島 史稔 様(町田市介護サービスネットワーク)  
大倉 博志 様(町田市市民代表)  
梅田 あき子 様(町田市市民代表)  
早出 満明(町田市いきいき生活部高齢者福祉課)  
青木 範和(町田市いきいき生活部高齢者福祉課)

# ヒアリング当日の内容について

---

## ■ヒアリング(40分間)

- ①今年度の重点事業計画書兼報告書について各センターから説明(5分)
- ②事業計画書兼報告書・事業評価表に関する質疑応答。委員からの意見(35分)

## ■ヒアリング後のまとめ(10分)

- ①事業計画書兼報告書におけるセンターへのコメントの検討
- ②事業評価案の確認

## ヒアリングでの主な質問について①

---

○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の項目に関連して、  
居宅介護支援事業所の支援を行う上で大変だと感じることを教えてください

<主な回答>

- ・複数のケアマネジャーが在籍する事業について、内部で相談をする前に、センターに直接相談が入ることがあり、まずは内部で相談するよう助言することがある。
- ・利用者やその家族から、ケアマネジャーの交代や、対応についての相談・苦情が寄せられることが増えているように思う。
- ・カスタマーハラスメントの相談が増えているように思う。センターとして、どのような立ち位置で相談を受ければよいのかわからない時がある。

## ヒアリングでの主な質問について②

---

○総合相談支援業務の項目に関連して、

8050問題等、高齢部門だけでは解決が難しい課題が出てきた場合、障がい者支援センターや保健所等の他機関との連携はできていますか。また、他機関と連携するにあたり、困難だと感じるものがあれば教えてください。

<主な回答>

- ・障がい分野、子ども分野、保健所等と情報交換したり、ケースを検討する機会を設けるようにしている。お互いのできること、できないことを理解することで以前より連携がスムーズにいくようになってきている。
- ・他の分野は対象者が比較的限定されているが、高齢者支援センターは対象が65歳以上と幅広く、アウトリーチも可能であることから、どの機関の対象にも当てはまらないようなケースに関わらざるを得ないことが多い。
- ・(まちだ福祉○ごとサポート相談センターがある地域)○ごとができてから、他機関と連携がとりやすくなったように感じている。

## ヒアリングでの主な質問について③

---

○介護予防支援・ケアマネジメントの項目に関連して、

介護予防支援・ケアマネジメントで、介護保険サービス以外の社会資源を活用するために、センターとして取り組んでいることがあれば教えてください。また、実際に活用はされていますか。

<主な回答>

・地域の自主グループや生活支援の情報をまとめた、社会資源冊子やマップを作成し、地域住民や居宅介護支援事業所にも配布し、活用していただくようにしている。

・社会資源について、ケアマネジャーに情報提供する際に、ケアマネジャーからも地域の情報をもらい、内容を充実させている。

・予防プランを作成する方は、特定のサービス利用を希望するケースが多く、実際に社会資源をプランに位置付けるのは難しい。